

令和7年第9回定例教育委員会会議録（要旨）

開会日 令和7年9月18日
場 所 市役所406会議室
時 間 午後2時00分 開会

（出席委員）

湯原教育長、滝委員、鈴木委員、村田委員、磯辺委員

（欠席委員）

なし

（委員以外の出席者）

滝教育部長、岩間学校教育課長、鈴木生涯学習課長、石森図書館長、
小山教育総務課長、遠山教育総務課総務学務係長、長谷川教育総務課主任

（次 第）

- ・議 事 議案第25号 北茨城市教育委員会教育長事務委任規程の一部を改正する訓令について
- ・報告事項 (1) 10月の教育委員行事日程について

（開 会）

教育総務課長

定刻となりましたので、湯原教育長よろしくお願ひいたします。

教育長

ただいまから、令和7年第9回定例教育委員会を開会いたします。

教育総務課長

続きまして、教育長よりご挨拶と教育長報告をお願いいたします。

(教育長からの挨拶、教育長報告。)

教育総務課長

ただいまの教育長からのご報告について、ご質問等ございますでしょうか。

(質問等無し)

それでは、ここからの議事進行については教育長をお願いいたします。

(議案第25号 北茨城市教育委員会教育長事務委任規程の一部を改正する訓令について)

教育長

本日の議事に入ります。それでは議案第25号について、担当課から説明をお願いします。

教育総務課長

(議案第25号 北茨城市教育委員会教育長事務委任規程の一部を改正する訓令について、説明。)

教育長

担当課からの説明が終わりましたが、質問等はございますでしょうか。

(質問等無し)

無いようですので、議案第25号について賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

ありがとうございます。挙手全員により、議案第25号については可決といたします。

(報告事項(1) 10月の教育委員行事日程について)

教育長

それでは報告に入ります。10月教育委員会の行事日程等について、担当課から説明をお願いします。

教育総務課長

(教育委員行事日程について、説明。)

滝委員

ちょっといいですか。今回電子黒板を、中学校の分を購入しますよね。

教育総務課長

入札が終わり、購入いたしました。

滝委員

それをどのように使うのかなど。見てみたいという気持ちがあります。話にはいろいろ聞いて、便利で、個別に見てる人もいるようですが、実際にまだ見てないんですよね。

教育総務課長

10月14日から本格的に使用する形になります。11月20日に学校訪問を予定しておりますので、その日に中学校に見学が可能かどうか、どの学校にするかも含めて調整します。

教育長

それでは5のその他に入ります。何かありますか。

磯辺委員

夏休み中の子どもたちの事件、事故というのは、特にはなく終わっていますか。

学校教育課長

今年の夏休み、細かな生徒指導事案等はございますが、大きな事故、生徒指導事案につきましても、報告はありません。

磯辺委員

はい、ありがとうございます。ちょっと子どもたちの登校状況等で気が付いていることなのですが、登校下校のときには、自転車のヘルメットを着用しているとは思いますが、休日とかそういうときには、特にヘルメットとかは着用しないで乗ってもいい、ということではないですね。

学校教育課長

小学校におきましては、休日等におきましてもヘルメット着用が4年生以上ということをやっているかと思います。中学校につきましては、私が把握している状況では、土日も義務付けている学校と、ご家庭、本人の判断に任せるという学校の二つに分かれています。

磯辺委員

関連して。逆走してくる子がいるんですよ。これはやはり危ないので、指導していただければというふうに思っています。そのときにはちょっと逆走なので、車を止めてというわけにいかなかったのですけれど。度々見るものですから、学校から指導していただければと思います。

学校教育課長

今月末に教頭会、10月の初旬に校長会議がございますので、そちらで周知徹底して、自転車の安全な乗り方も含めた安全指導という形で徹底してまいります。

滝委員

確認ですが、中学生は選択してという話でしたけれども、道交法が改訂されて、ヘルメットを着用していないと指導対象になって、保護者に過料というか、そういった流れにはなっていなかったですか。最近、おじさんもヘルメットを着用して乗ってる姿をよく見ますよね。

学校教育課長

私の認識では、努力義務と捉えているところですが。学校では、極力ヘルメットを着用することを推奨という形で、取り組んでるところですが、ちょっと確認させてください。

磯辺委員

道路交通法では、まだ努力義務というところで、努めなければならないというところですね。

学校教育課長

ながらスマホに関しましては、罰則規定がしっかりと決められておりますので、それは中学校で指導を徹底しているかと思います。

滝委員

了解しました。おじさんたちの方が真面目だということかな。しっかり被ってる人が増えているよね。やっぱり極力、その下の子も見てるわけなので。中学生が被っていないんだからいいや、になっちゃうとまずいので被って欲しいという感じがしますね。

鈴木委員

ヘルメットの話が出たので、ひとつお伺いしたいことがありまして。中学1年生に入学のお祝いでヘルメットをプレゼントしていると思うのですが、自転車通学をする子は市からいただける。でも、歩いて通学してる子はその対象になっていない。先生とお話したときに、下校後や休日でもヘルメットを着用して自転車に乗るように指導はしているけれども、やはりいつも使っていない子は、そのために家庭でヘルメットを購入するといったことがなく、ヘルメットを着用しないで自転車に乗ってしまうということが、指導が浸透していかないといったところをちょっと悩んでいるというというお話もあったので。今後、自転車通学の子だけにプレゼントするのではなく、中学1年生全員にと対象を広げていただけると、中学生がヘルメットを被ることが浸透していきやすいのかなと思いました。

高萩市の中学生を見てると、被るのにあまり抵抗のないヘルメット、形が違うヘルメットを被っているのをよく見るので、ヘルメットの形態とかも今のニーズに合ったものに検討していった方が、子どもたちがよりプライベートの時間も被りやすくなるのかなという希望がありまして。どこかのタイミングでお伝えしたいなと思っていたんですが、今ちょうど話題があったのでお話させていただきました。

教育総務課長

今おっしゃられたとおり、自転車通学の方に教育委員会でヘルメットを贈呈しております。こちらは、通学時の安全確保という目的で贈呈しております。おっしゃられた内

容にありましたように、通学に関係なく、交通安全に対してのものということになると思いますが、交通安全の担当課もごさいますので、そちらの意見も伺いながらといったことになると思います。それと、ヘルメットの形ですが、今どき言いますか、どういったものがあるのか、そちらについては調べさせていただきます。

教育長

その他ごさいますか。

村田委員

夏休みの間、教育長さんからこの読書記録を定期的に発信してくださっていて、北茨城市の大人も子どもも、本をたくさん読む市にしたいという思いが込められているんですが、夏休み期間の本の貸出数というのは、平常の月よりも増えるものなのではないでしょうか。

図書館長

貸出資料数ですが、8月が25,659、前月7月が21,537、6月が16,647となっております。

村田委員

やはり夏休みはぐんと増えていきますね。お便りの中でも、8月に手作りのワークショップをされたりですとか、5、6年生を対象にそのようなイベントのときにまた本を借りていく生徒もいるのかなと思っておりますので。こういったみんなが図書館に集まれる取り組みなども、今後いろいろな機会で、いろいろな年代の方たちに、子どもだけでなく本を読んでいる大人の姿を見せるということ意識すると、いろいろな年代の方にこういうふうに図書館に集まってもらえる仕組みを、イベントなども開催すると良いのかと思いました。

教育長

その他ごさいますでしょうか。

滝委員

新聞に、市教委主催で北茨城市のICTスキルアップ夏期研修会をやられたと出ていました。120人ぐらいの先生方を対象に、3日間やられて、延べ15講座。すごく良いことだと思いますが、講座はどういった内容でやられたのですか。

学校教育課長

指導教諭の先生方を中心に、情報教育研究部と教務主任会、今回は他地区からも講師の先生、中学校の先生をお呼びして、3日間にわたって実施いたしました。キャンバランという教育ソフトで、パワーポイントを噛み砕いた形でできるソフトの講座とか、Googleフォームの活用の仕方とか、日常的に使えるようなものですね。また、クリップボードといったホワイトボードの機能もついておりますので、日常的な授業で使える機能の講座であったり、お便りをスムーズに使えるようなソフトの紹介であったり、基礎講座と実用的なもの、さらに応用編ということで、その講師の先生が得意としているソフトなどについて研修を実施したところでございます。延べ人数で200人を超えており、3日間研修を受けられた方もいらっしゃいますし、中には管理職の方で受けられた方もいました。参加者、協力していただいた先生からも、今後活用していきたいという意見をたくさんいただいております、大成功に終わった事業と捉えております。細かなところは後で資料を読んでいただければと思います。

滝委員

こういうシステムが大きく変わるときって、完成研修というか、講師を呼んできて研修させるという形が多いんだけど、今回は、自分たちで講座も選べるし、仲間の教師も指導者になってるし。AIなんですよというのをね、対応できるような部分もあるということで、ずいぶん画期的というか、タイムリーな良い研修だったんだろうなと。見てみたかったなと、そんな感じがしたものですから。ご苦労様でした。

教育長

その他ございますか。

教育部長

それではこれから事務局から何件かのご報告を兼ねましてお話をさせていただきます。私から2点、教育総務課長から1点、生涯学習課長から3点話をさせていただきます。

(教育支援センターについて、中郷第一小学校と中郷中学校の整備について、報告。)

教育総務課長

(北茨城市立学校の在り方検討委員会について、報告。)

生涯学習課長

(北茨城市制施行70周年の鑑賞事業として開催する歴史民俗資料館での特別展及び期待場での里の秋コンサートについて、北茨城市施行70周年記念特別講演について、説明。)

教育長

いろいろございましたけれども、ただいまの説明につきましてご質問等ございましたらお願いいたします。

滝委員

議会説明の後に議員さんたち、それから文教の方たちの反応で、石岡小、中二小への説明をやって欲しいといった話が出なかったのかな。中一小と中郷中の話ではあるけれど、その先の将来を考えると、この二つの学校はもう本当に難しい状況にあるという認識は、議員さんたちも持ってるわけですね。

教育部長

持っていますね。今回は学校の施設整備ということで中一小と中郷中の話をしましたけれども、当然ながら中二小と石岡小どうなんだ、ということがあろうと思うんですね。今回は中一小と中郷中の話しかしませんでした。そこで想定される質問としては、その2校どうするんだという質問が来るのかなと思ったのですけれども、そこまでの話ではなくて、関係者の説明会をするのであれば、中二小や石岡小にも説明はするべきでしょうというような話でした。その方が賛成なのか賛成でないのかということは分からないのですが、小学校3つを一緒にという話に賛成という方も中にはいます。概ね理解は得られたのかなという感触でございます。私の感触で話をして申し訳ないのですが。

滝委員

思ったのは、この話をある程度進めた段階で、煮詰まってきた段階で振られるよりは、市の意向として将来的にこういうふうなことも考えてるんだっていうのをある程度打ち出していった方が。後で概ねこうなるということを回避するためにも。一步戻って、市の意向としてはどうなんだろう。

教育部長

先ほどあり方検討委員会の話もありまして、そちらでもいろんな意見をこれからいた

だくことにしていますので、その辺の意見も踏まえて考えていきたいということにしております。やはり中二小と石岡小も一緒にという考え方ももちろんございますでしょうが、市民の皆さんにどう考えているのか、石岡小はやっぱり残した方がいいとかいう意見もなくはないと思うんですね。そういった意見も大切にしながら、いろんな意見を検討委員会の中でもらった上で、我々としても考えていきたいと考えています。

滝委員

了解しました。あんまり独断でとなると、反発も当然出てくるだろうし。いろんな意見を聞いた上で集約して、どちらかっていうとこの方が。了解です。

教育長

その他、ございますでしょうか。

(質問等無し)

(閉 会)

教育長

以上をもちまして、令和7年第9回定例教育委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉会 午後2時56分